

両生類

神田智衣

窓のない部屋で横になっている

頭が痛むのは本の余白だけがはっきり見えてしまうからで

窓のない部屋には大きな本棚が三つあるのだった

横並びのいちばん右の棚には大判のものを入れる

中にオレンジの表紙（素材はビニール）

タイトルはゴシック体の白抜きで

いつもよりずっと小さく見えるのが不思議だった

目を強くおさえる

視界が白っぽくなって手を離すと

やっぱり小さいままで

その小ささは相変わらずこたえるけれど

部屋からは出られない

頭の痛みが取れて日光を直視しても

反射的に涙が分泌されることもなくなるまでは

といっても私の目はすっかり乾燥しきっていて

もう粘膜とは呼べないようになっていた

それは例えば

サンショウウオだと思って抱き上げた生き物が

大きなトカゲだった時の感覚に似ている

両手でつかみ上げた生き物にやけどをさせなくてすんだことに

安堵するけれど

土がこぼれるのが気になって

手を放したくなった